



(共同リリース)

2026年8月14日

奥尻町

株式会社北海道エアシステム

奥尻町とHAC、地域活性化および脱炭素社会の実現に向けた 包括連携協定を締結 ～地域防災や教育・人材育成も推進～



奥尻町(所在地:北海道奥尻郡奥尻町、町長:新村 卓実)と株式会社北海道エアシステム(本社:北海道札幌市、社長:花楸 健一、以下「HAC」)は、2026年8月27日(木)、奥尻町の地域活性化と脱炭素社会の実現、および地域防災、教育・人材育成などの推進を目的とした包括連携協定を締結します。

■協定事項と取り組み例

	協定事項	取り組み例
1	【観光振興】誘客促進と航空路線利用促進に関する連携	観光PR、各種媒体を用いた情報発信、省エネ機材(HAC定期便)の運航維持
2	【環境保全】カーボンニュートラル・脱炭素化に向けたまちづくり	「サステナブル・アイランド奥尻」(*1)構想の推進、ブルーカーボンクレジット購入、環境配慮型観光の検討
3	【地域づくり・防災】交流・関係人口の創出・拡大と地域防災の強化	JALふるさと納税を活用した特産品(ウニ・アワビ・奥尻ワイン等)のプロモーション、災害時の緊急輸送体制の構築
4	【人づくり】教育・人材育成に関する連携	奥尻高等学校と連携した町おこしワークショップへの協力、環境教育イベント、体験搭乗等の実施、検討

本協定に基づき、まずはキックオフとして、HACは奥尻町発行の「ブルーカーボンクレジット」を2年連続で購入します。また、9月12日には「空の日イベント」も開催し、奥尻空港にて電気自動車(EV)の試乗会や環境教育を実施することで、離島ならではの持続可能なまちづくりを両方で推進してまいります。

奥尻町とHACは、本協定の締結を契機として一層の地域活性化と脱炭素社会の実現を目指します。

(*1)奥尻町は、2022年11月に脱炭素先行地域に選定され、コンセプトに掲げた「サステナブル・アイランド奥尻」実現に向けた脱炭素まちづくりを目指して、再エネ・省エネに資する統合的な取組を実施しています。

■本協定のキックオフ施策について

1. 奥尻空港での「空の日イベント」開催

協定事項「教育・人材育成に関する連携」の一環として、「空の日イベント」を奥尻空港にて開催し、「人づくり」「地域づくり」に取り組みます。「空の日イベント」の開催は昨年に続き2回目となります。

＜開催概要＞

日時:2026年9月12日(土)12:00～20:00

場所:奥尻空港

対象:奥尻島の子供たちを中心とした住民の皆さま

内容:

- ・ 航空教室(パイロットや客室乗務員、地上スタッフによるお仕事紹介・安全講話)
- ・ 滑走路星空ウォーキング(パイロットとアウトドアガイドとともに夜空と航空灯火を見ながら滑走路を歩く)
- ・ 滑走路グリーンスローモビリティ(EV車)体験会
- ・ 滑走路サンセットヨガ教室(客室乗務員ヨガインストラクターによる夕陽を見ながらヨガ体験)
- ・ 折り紙ヒコーキ教室

詳細:各イベントの開催時間などはHAC公式Instagramをご確認ください。

URL:: https://www.instagram.com/hac_hokkaido/



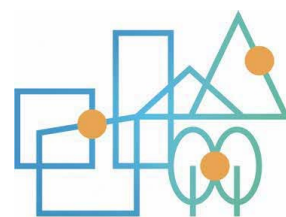
2. ブルーカーボンクレジットの購入(2年連続)

HACは昨年に続き、奥尻町が発行するブルーカーボンクレジット(*2)を購入しました。

奥尻地区海藻生産・活用調査検討協議会が独自に養殖する「ホソメコンブ」は、光合成により多くの二酸化炭素(CO₂)を吸収し、海底に沈降させることで高いCO₂削減効果が得られることから、奥尻町の脱炭素のまちづくりを支える重要なブルーカーボン資源となっています。

HACはクレジットの継続購入によって航空会社として脱炭素化の取り組みを着実に推進しながら、奥尻町と一体となって「サステナブル・アイランド奥尻」(*1)の実現を目指す取り組みを発展させていきます。

(*2) 2025年1月28日付プレスリリース | HAC、奥尻町が進めるホソメコンブ脱炭素化推進を支援 最初のブルーカーボンクレジット購入、ともにサステナブル・アイランド実現へ URL:https://www.info.hac-air.co.jp/wp-content/uploads/2025/01/Press_20250128.pdf



脱炭素先行地域

